

5) 糖尿病患者の死因

金子 兼三 (長岡赤十字病院内科)

昭59.5から平3.5での間に DM 患者 388 例で認められた致死合併症について検討した。1) 脳血管障害は34例。うち27例(男17例, 女10例)が脳梗塞で, 発症時年齢は43~79才, 平均63才。3例で2回以上発症。脳出血は3例で, 2例が高血圧合併例。2) 冠動脈疾患は22例。狭心症は8例(男7例)で, 発症時年齢は35~69才, 平均55才。それぞれ3例が PTCA, A-C パイパス術を施行され, 後に3例で AMI 併発。AMI は17例(男11例, 女6例)で, 発作時年齢は43~76才, 平均62才, 大半例が無痛性であった。3) 癌併発例は32例(男22例, 女10例。42~81才, 平均62才)。大腸癌, 胃癌がおのの9例と多く, HCC, 総胆管癌, 肺癌, 膀胱癌がそれぞれ2例。4) 死亡例は32例(男18例, 女14例。死亡時年齢46~83才, 平均65才)。死因は AMI, 心不全7例(突然死2例), 脳梗塞4例, 腎不全3例(突然死1例), 肝硬変3例, 癌13例(胃癌3例, 大腸癌ならびに HCC 2例など)などである。

6) 柏崎市基本健康診査における糖尿病スクリーニング (第2報)

涌井 一郎・五十川正矩
田村 孝・会田 恵 (柏崎市刈羽郡医師
会・糖尿病委員会)
小黒 元夫・北村 英朗 (柏崎市刈羽郡医師
会検査科)
阿部 常一
大岡久美子・古川 久子 (柏崎市役所保健衛
生課保健婦)

[方法] 一次で「尿糖(±)以上」「+30%以上肥満」, 「糖尿病の家族歴のある者」を拾い上げ二次で随時血糖(BS), HbA1c (正常上限5.9%以下)を測定。BS 200 mg/dl 以上をまたは HbA1c 7.0%以上は要医療。BS 110 mg/dl 未満かつ HbA1c 6.0%未満は異常なし。それ以外を三次として 75 g OGTT 施行。[結果] (一次) 総受診者 15,483 名。二次対象者は尿糖 972 名, 肥満 492 名, 家族歴 615 名の計 2,079 名。(二次)「尿糖」: 要医療 27% 異常なし 20%。「肥満」: 要医療 5%, 異常なし 46%。「家族歴」: 要医療 5% 異常なし 43%。(三次) 対象 1,047 名のうち 518 名受診。全体では糖尿病型 (D) 12%, 境界型 (B) 75%, 正常型 (N) 13%。「尿糖」: D 17% N 5% 「肥満」; D 11% N 9% 「家族歴」; D 8% N 23%。(Cutoff 値) 75 g OGTT の結果より BS は clear に分別できる値の設定は困難であった。HbA1c は 6% 以上で D が増加し N が減少することより 6% の設定は妥

当と思われた。

7) 微量尿蛋白検出キット「アルブミンテスト」(三和化学)の臨床的意義

羽田久美子・北見 明美
佐藤 巖 (南部郷総合病院)
谷 長行 (新潟大学第一内科)

当院糖尿病外来に通院中の糖尿病患者54名(うち ID-DM 2名)の外来受診前夜の夜間尿と当日の外来スポット尿を用い, それぞれに対して「アルブミンテスト」を施行し, 夜間尿に対して RIA 法を用いた尿中アルブミン排泄濃度, 尿中アルブミン排泄量(AER)を測定し比較検討した。夜間尿「アルブミンテスト」陰性で外来スポット尿「アルブミンテスト」陽性例は認められたが, 外来スポット尿で「アルブミンテスト」陰性例では夜間尿「アルブミンテスト」は陰性で, AER 20 $\mu\text{g}/\text{min}$ 以下すなわち, normoalbuminuria であると判定できた。安価で迅速に判定でき, 腎症の follow up に役立つものと思われた。

8) 亜急性甲状腺炎患者のフルクトサミンの検討

吉岡 光明・山川 能夫
斉藤 秀晃 (県立中央病院内科)

1989年1月より1991年5月の17ヶ月間に18名(男5名女13名)の亜急性甲状腺炎患者を経験した。このうち未治療時に採血できた13名のフルクトサミンを検討した。BML 社の旧法(グリカपीン)で測定した4名のフルクトサミンは, 2.13 mmol/l と control 255 mmol/l に比して有意に低値を示した ($p < 0.01$)。一方, バセドウ氏病のフルクトサミンは 1.97 mmol/l と亜急性甲状腺炎よりも更に有意に低値を示した ($p < 0.05$)。その後, キットの改善に伴い, ロッシュ社の新法で測定した9名のフルクトサミンは 249 $\mu\text{mol}/\text{l}$ と control 257 $\mu\text{mol}/\text{l}$ に比して有意な変化はなかった。この原因として, 新法で測定した症例の中には, 甲状腺機能検査で Fvee-T4 が正常例4名と軽症例が多かった。更に Albumin も 3.85 g/dl と旧法で測定した症例の 3.28 g/dl に比して有意に高値 ($p < 0.05$) などが考えられた。